

富士通研究所 研究紹介 のお知らせ

題目 量子計算への誘い
～量子計算機が暗号に与える影響～

講演者 伊豆 哲也氏
富士通株式会社セキュリティサイエンス研究所シニアディレクター

インターネットのセキュリティを確保する上で公開鍵暗号は欠かせない技術です。

既存の公開鍵暗号の安全性は巨大整数の素因数分解問題や離散群における離散対数問題のような数学的な問題の難しさに依拠しているのですが、量子計算機という新しいアーキテクチャに基づく計算機を用いるとこれら問題は容易に解けてしまい、インターネットの安全性が維持できなくなることが指摘されています。

本セミナーでは量子計算機の近年の開発動向や量子計算の原理(線形代数!)を紹介するとともに、暗号の解読方法や量子計算機でも解読できない公開鍵暗号の試みにも触れます。

なお、本セミナーでは弊社の研究内容や2026年の夏季インターンについても紹介予定です。

日時

2026年5月14日(木)
15:00～16:30

場所

情報科学研究科棟
2階中講義室(207号室)
キャンスマップ「G01」



青葉山キャンパスGエリア

この度、富士通研究所の研究者をお招きして、企業における数学を用いた研究、特に量子計算機と暗号について話していただくと共に、学生向けインターンシップについても紹介していただく場を企画しました。広く数学系の学生の皆さんを対象としています。数学を学んで企業で働くということの実態を知るチャンスでもあると思いますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。事前登録等は不要ですので、気軽に会場にお越し下さい。

問合せ先

数理科学共創社会センター事務室
mccs_jm@grp.tohoku.ac.jp